

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2025年5月15日(15.05.2025)



(10) 国際公開番号

WO 2025/100375 A1

(51) 国際特許分類:

A01K 1/01 (2006.01)

(21) 国際出願番号:

PCT/JP2024/039160

(22) 国際出願日:

2024年11月1日(01.11.2024)

(25) 国際出願の言語:

日本語

(26) 国際公開の言語:

日本語

(30) 優先権データ:

特願 2023-192067 2023年11月10日(10.11.2023) JP

(71) 出願人: ユニ・チャーム株式会社(UNICHARM CORPORATION) [JP/JP]; 〒7990111 愛媛県四国中央市金生町下分 1 8 2 番地 (JP).

(72) 発明者: 長谷川 聡 (HASEGAWA Satoshi);

〒7691602 香川県観音寺市豊浜町和田浜 1 5 3 1-7 ユニ・チャーム株式会社 テクニカルセンター内 (JP). 笹野 廉紘(SASANO Yasuhiro); 〒7691602 香川県観音寺市豊浜町和田浜 1 5 3 1-7 ユニ・チャーム株式会社 テクニカルセンター内 (JP).

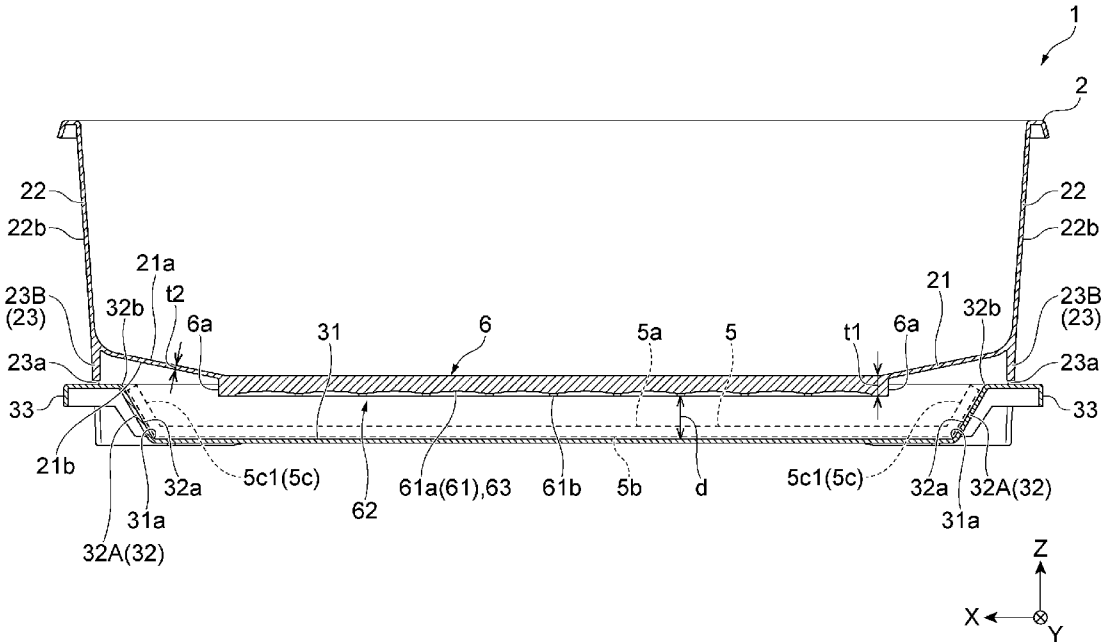
(74) 代理人: 長谷川 芳樹, 外(HASEGAWA Yoshiki et al.); 〒1000005 東京都千代田区丸の内二丁目

1 番 1 号 丸の内 M Y P L A Z A (明治安田生命ビル) 9 階 創英国際特許法律事務所 (JP).

(81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN,

(54) Title: SYSTEM LITTER BOX FOR PET

(54) 発明の名称: ペット用システムトイレ



(57) Abstract: A system litter box 1 according to one embodiment includes: an upper container 2 including a bottom wall portion 21 provided with a liquid permeable portion 6 having a plurality of openings H; and a lower container 3 disposed under the upper container 2 so as to overlap the upper container 2 and having a placement surface 31 on which a pet sheet 5 for absorbing liquid having passed through the liquid permeable portion 6 is placed. The lower container 3 has a side wall portion 32 that is connected to an outer edge portion 31a of the placement surface 31 and along which the edges of

[続葉有]

CO, CR, CU, CV, CZ, DE, DJ, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IQ, IR, IS, IT, JM, JO, KE, KG, KH, KN, KP, KR, KW, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, MG, MK, MN, MU, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, WS, ZA, ZM, ZW.

- (84) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, CV, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SC, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, ME, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

一 国際調査報告 (条約第21条(3))

the pet sheet 5 are to be disposed. A top portion 32b of the side wall portion 32 is positioned above the lowermost portion of the liquid permeable portion 6.

(57) 要約: 一実施形態のシステムトイレ 1 は、複数の開口部 H を有する液通過部 6 が設けられた底壁部 2 1 を有する上容器 2 と、上容器 2 と重なるように上容器 2 の下方に配置され、液通過部 6 を通過した液体を吸収するペットシート 5 が載置される載置面 3 1 を有する下容器 3 と、を備える。下容器 3 は、載置面 3 1 の外縁部 3 1 a に接続され、ペットシート 5 の縁部を沿わせて配置するための側壁部 3 2 を有し、側壁部 3 2 の頂部 3 2 b は、液通過部 6 の最下部よりも上方に位置する。

明 細 書

発明の名称： ペット用システムトイレ

技術分野

[0001] 本開示は、ペット用システムトイレに関する。

背景技術

[0002] ペット用システムトイレとして、尿が下方に通過する複数の穴が設けられた上容器と、上容器の下方に配置され、長手方向の前面に差し込み口が形成された下容器と、差し込み口から下容器内に收容されるトレーと、トレーの底面に載置されて、上容器の複数の穴から落下する尿を受け止めて吸収するペットシート（吸収性シート）と、を備える構成が知られている（例えば、特許文献1 参照）。

先行技術文献

特許文献

[0003] 特許文献1：特開2016-158622号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0004] 上記のようなトレー引き出し型のシステムトイレでは、シート交換時にトレーを下容器内から引き出す際にペットシートが上容器に引っかかることを防止するために、上容器の底壁部（複数の穴が設けられた部分）とトレーとを十分に離す必要がある。しかし、上記のように上下方向における底壁部からペットシートまでの距離が長いと、上容器の複数の穴から落下する尿がペットシートの外側に漏れるおそれが高くなる。また、上容器の複数の穴から落下する尿がペットシートに移行し難くなるため、ペットシートに吸収されずに残る尿から悪臭が発生するおそれもある。

[0005] そこで、本開示の一側面は、ペットシートの外側への尿漏れ及び悪臭の発生を抑制することができるペット用システムトイレを提供することを目的とする。

課題を解決するための手段

[0006] 本開示の一側面に係るペット用システムトイレは、複数の開口部を有する液通過部が設けられた底壁部を有する上容器と、上容器と重なるように上容器の下方に配置され、液通過部を通過した液体を吸収するペットシートが載置される載置面を有する下容器と、を備え、下容器は、載置面の外縁部に接続され、ペットシートの縁部を沿わせて配置するためのシート配置部を有し、シート配置部の最上部は、液通過部の最下部よりも上方に位置する。

発明の効果

[0007] 本開示によれば、ペットシートの外側への尿漏れ及び悪臭の発生を抑制することができるペット用システムトイレを提供することができる。

図面の簡単な説明

[0008] [図1]一実施形態に係るペット用システムトイレの斜視図である。
[図2]図1のペット用システムトイレの分解斜視図である。
[図3]図1のペット用システムトイレの上容器の上面図である。
[図4]図1のペット用システムトイレの上容器を底面側から見た斜視図である。
[図5]図1のV-V線に沿ったペット用システムトイレの断面図である。
[図6]図1のVI-VI線に沿ったペット用システムトイレの断面図である。
[図7]第1変形例に係るペット用システムトイレの構成を示す概略断面図である。
[図8]（A）は第2変形例に係るペット用システムトイレの斜視図であり、（B）は（A）のペット用システムトイレの下容器の斜視図である。
[図9]第2変形例に係るペット用システムトイレにおける上容器と下容器との嵌合部分を示す一部断面図である。
[図10]下容器の隅部の構成の一例を示す平面図である。

発明を実施するための形態

[0009] 本明細書及び添付図面の記載により、少なくとも以下の態様1～態様13

が明らかとなる。

[0010] (態様1)

複数の開口部を有する液通過部が設けられた底壁部を有する上容器と、
前記上容器と重なるように前記上容器の下方に配置され、前記液通過部を
通過した液体を吸収するペットシートが載置される載置面を有する下容器と
、を備え、

前記下容器は、前記載置面の外縁部に接続され、前記ペットシートの縁部
に沿わせて配置するためのシート配置部を有し、

前記シート配置部の最上部は、前記液通過部の最下部よりも上方に位置す
る、ペット用システムトイレ。

[0011] 上記ペット用システムトイレでは、ペットシートの縁部がシート配置部に
沿うように、ペットシートが下容器にセットされる。シート配置部の最上部
は、上容器の底壁部の液通過部（すなわち、複数の開口部を介して尿を下容
器側に落下させる部分）の最下部よりも上方に位置するため、ペットシート
の縁部の高さ位置を液通過部の最下部よりも高い位置まで到達させることが
可能となる。その結果、液通過部から落下した尿がペットシートの外側に漏
れ難くなる。また、吸液して膨張したペットシートと液通過部との距離を好
適に近づけることが可能となるため、液通過部からペットシートへと尿の移
行を促進させることができる。その結果、ペットシートに吸収されずに残る
尿の量を低減でき、悪臭の発生を抑制することができる。

[0012] (態様2)

前記液通過部の下面には、上方向に向く弧状のアーチ部が複数連続して形
成された液誘導部が設けられており、

前記シート配置部の最上部は、前記アーチ部の最上部よりも上方に位置す
る、態様1のペット用システムトイレ。

[0013] 態様2によれば、液誘導部によって、尿を下容器へと効果的に移行（落下
）させることができる。さらに、シート配置部の最上部の高さ位置が液誘導
部のアーチ部の最上部（最も上側に凹んだ部分）よりも高い位置に設定され

ていることにより、ペットシートの外側への尿漏れを抑制する効果をより一層高めることができる。

[0014] (態様3)

前記液通過部の面積は、前記載置面の面積よりも小さく、
前記シート配置部の外縁部は、前記液通過部の外縁部よりも外側に位置する、態様1又は2のペット用システムトイレ。

[0015] 態様3によれば、液通過部から下容器へと落下する尿を、ペットシートのなるべく中央部に導くことができるため、ペットシートの外側への尿漏れを抑制する効果をより一層高めることができる。

[0016] (態様4)

前記液通過部の面積は、前記載置面の面積よりも小さく、
前記載置面の外縁部は、前記液通過部の外縁部よりも外側に位置する、態様1～3のいずれかのペット用システムトイレ。

[0017] 態様4によれば、態様3について述べた効果をより一層高めることができる。

[0018] (態様5)

前記液通過部の最下部と前記載置面との距離は、25mm以下である、態様1～4のいずれかのペット用システムトイレ。

[0019] 態様5によれば、ある程度の尿を吸収して膨張したペットシートの表面と液通過部の最下部とを接触（或いは近接）させることが可能となるため、液通過部からペットシートへの尿の移行を効果的に促進させることができる。
その結果、悪臭の発生を好適に抑制することができる。

[0020] (態様6)

前記液通過部の厚さは、前記底壁部において前記液通過部が設けられていない部分の厚さよりも大きい、態様1～5のいずれかのペット用システムトイレ。

[0021] 態様6によれば、底壁部のうち液通過部が設けられた部分を他の部分よりも厚くすることにより、液通過部の撓みを抑制し、液通過部からペットシー

トへの尿の移行をより一層効果的に促進させることができる。

[0022] (態様 7)

前記液通過部の厚さは、5 mm 以上である、態様 1 ～ 6 のいずれかのペット用システムトイレ。

[0023] 態様 7 によれば、態様 6 について述べた効果をより一層高めることができる。

[0024] (態様 8)

前記液通過部の前記開口部の幅は、2. 5 mm 以下である、態様 1 ～ 7 のいずれかのペット用システムトイレ。

[0025] 態様 8 によれば、上容器の底壁部の上にトイレ砂のような粒状物が配置される場合に、液通過部において当該粒状物を適切に支持しつつ、尿のみを下容器側に通過させることができる。

[0026] (態様 9)

前記液通過部の上面は、前記底壁部において前記液通過部が設けられていない部分の上面と連続しており、

前記液通過部の下面は、前記底壁部において前記液通過部が設けられていない部分の下面よりも下方に突出している、態様 1 ～ 8 のいずれかのペット用システムトイレ。

[0027] 態様 9 によれば、液通過部を下方に突出させることにより、液通過部の最下部を下容器の載置面に載置されるペットシートに効果的に近づけることができる。これにより、シート配置部の高さをそれほど高くしなくても、シート配置部の最上部が液通過部の最下部よりも上方に位置する構成を実現することができる。

[0028] (態様 10)

前記上容器は、前記底壁部の縁部から上方に延びる第 1 壁部を有し、

前記シート配置部は、前記載置面の縁部から上方に延びる第 2 壁部を有し、

、

前記第 2 壁部の内面は、前記第 1 壁部の外面よりも内側に位置している、

態様 1 ～ 9 のいずれかのペット用システムトイレ。

[0029] 態様 1 0 によれば、上容器の下方に下容器が收容されると共に、下容器の幅寸法を上容器の幅寸法よりも小さくすることができるため、ペット用システムトイレをコンパクト化することができる。

[0030] (態様 1 1)

前記上容器は、床面に支持されて前記下容器を包囲するように配置される支持壁部を有し、

前記支持壁部の少なくとも一つの面を構成する第 3 壁部には、前記床面との間に空間を形成する凹部が設けられており、

前記下容器は、前記凹部に対応する位置に配置される取手部を有し、

前記取手部の全体は、前記第 3 壁部よりも内側に配置される、態様 1 ～ 1 0 のいずれかのペット用システムトイレ。

[0031] 態様 1 1 によれば、取手の外側に位置する上容器の底面（例えば、第 3 壁部の凹部の内面）を掴むことによって、上容器だけを容易に上方に持ち上げることができる。このような取り外し構造により、シート交換時に、ペットシートが上容器に引っかかって破損するリスクを低減できる。また、上記取り外し構造によれば、上容器を下容器に対して横方向にスライドさせる必要がないため、シート配置部の最上部の位置をある程度高くしたとしても、シート交換時等に液通過部とシート配置部とが干渉することを回避できる。

[0032] (態様 1 2)

前記下容器に前記上容器が重ねられた使用状態において、前記上容器の第 1 部分と前記下容器の第 2 部分とが互いに位置決めされることにより、前記下容器に対する前記上容器の横方向の移動が抑制されるように構成されている、態様 1 ～ 1 1 のいずれかのペット用システムトイレ。

[0033] 態様 1 2 によれば、上容器を下容器の上に重ねて使用状態にする際に、下容器の第 2 部分に対して上容器の第 1 部分の位置を合わせることにより、下容器に対して上容器を正しく設置することが容易となる。その結果、使用状態において、上容器の液通過部と下容器のシート配置部との位置関係を適切

に維持することができるため、シート配置部の外側（すなわち、ペットシートの外側）への尿漏れを好適に抑制することができる。

[0034] （態様 1 3）

前記下容器の前記載置面は、平面視において略矩形状を有しており、

前記下容器は、上下方向に直交する第 1 方向の両側において前記載置面の外縁部から上方に立ち上がりつつ前記上下方向及び前記第 1 方向に直交する第 2 方向に沿って設けられた一对の第 1 側壁部と、前記第 2 方向の両側において前記載置面の外縁部から上方に立ち上がりつつ前記第 1 方向に沿って設けられた一对の第 2 側壁部と、を有し、

前記載置面の四隅の各々において、前記第 1 側壁部の前記第 2 方向の端部には、前記第 2 方向の外側に向かうにつれて前記第 1 側壁部が前記第 1 方向の外側に変位するように構成された第 1 変位部が形成されていると共に、前記第 2 側壁部の前記第 1 方向の端部には、前記第 1 方向の外側に向かうにつれて前記第 2 側壁部が前記第 2 方向の外側に変位するように構成された第 2 変位部が形成されている、態様 1 ～ 1 2 のいずれかのペット用システムトイレ。

[0035] 態様 1 3 によれば、下容器上にペットシートが載置された際に、載置面の四隅の各々の第 1 側壁部と第 2 側壁部とが交差する隅部に配置される当該ペットシートの角部に対して第 1 方向及び第 2 方向から付与される各折り曲げ動作を、第 1 変位部及び第 2 変位部によって緩和することができる。これにより、当該ペットシートの角部が起立することを抑制し、ペットシートと下容器の隅部との間の隙間が生じることを抑制することができる。その結果、下容器上に載置されたペットシートの外側への尿漏れをより一層効果的に抑制することができる。

[0036] [実施形態]

以下、本開示の実施形態について、図面を参照しつつ詳細に説明する。なお、以下の説明において、同一又は相当要素には同一符号を用い、重複する説明を省略する。

[0037] 図1～図6を参照して、一実施形態に係るペット用システムトイレ（以下、「システムトイレ1」という。）について説明する。システムトイレ1は、動物用のトイレ装置である。システムトイレ1を利用する動物の例としては猫が挙げられるが、システムトイレ1を利用する動物は、特定の動物に限定されない。図面においては、上下方向をZ軸方向と表し、システムトイレ1の長手方向をX軸方向と表し、システムトイレ1の短手方向をY軸方向と表している。以下、上記の各方向を図面に表されるXYZ直交座標系と対応させて、上下方向を「上下方向Z」、長手方向を「長手方向X」、短手方向を「短手方向Y」と表す。

[0038] 図1に示されるように、システムトイレ1は、上容器2と、下容器3と、を備えている。上容器2は、猫砂等の図示しない複数の粒状物が載置される箱状の容器である。下容器3は、上容器2と上下方向Zに重なるように上容器2の下方に配置され、ペットシート5（図5及び図6参照）が載置される箱状の容器である。本実施形態では、下容器3の上下方向Zの長さは、上容器2の上下方向Zの長さよりも短い。

[0039] 図1～図4に示されるように、上容器2は、底壁部21と、底壁部21の縁部に接続されて当該縁部から上方に延びる側壁部22（第1壁部）と、底壁部21の縁部に接続されて当該縁部から下方に延びる支持壁部23と、を有している。

[0040] 底壁部21は、上下方向Zから見た平面視において、長手方向Xの長さが短手方向Yの長さよりも長い略矩形状に形成されている。底壁部21は、上方を向く上面21aと下方を向く下面21bとを有している。図3に示されるように、底壁部21の略中央部には、略矩形状の液通過部6が形成されている。

[0041] 液通過部6は、それぞれ上下方向Zに貫通する複数の開口部Hが形成された領域である。本実施形態では、液通過部6において、長手方向Xに10個の開口部Hが並ぶと共に短手方向Yに34個の開口部Hが並ぶように、複数（本実施形態では、340個）の開口部Hが配置されている。各開口部Hは

、長手方向Xの長さが短手方向Yの長さ（幅）よりも長い略矩形状の形状を有している。各開口部Hの幅（短手方向Yの長さ）は、例えば2.5 mm以下である。これにより、底壁部21の上面21a上に載置される粒状物（例えばトイレ砂）が開口部Hをすり抜けて下方に落下することが適切に防止される。すなわち、液通過部6において当該粒状物を適切に支持しつつ、尿（液体）のみを下容器3側に通過させることができる。

[0042] 液通過部6の上面21a（すなわち、液通過部6のうち開口部Hが設けられていない部分の上面）は、底壁部21において液通過部6が設けられていない部分（すなわち、液通過部6の周囲の部分）の上面21aと連続している。一方、液通過部6の下面21b（すなわち、液通過部6のうち開口部Hが設けられていない部分の下面）は、底壁部21において液通過部6が設けられていない部分の下面21bよりも下方に突出している。本実施形態では、図4に示されるように、液通過部6の下面21b側には、液通過部6が設けられていない部分の下面21bよりも下方に突出するようにスノコ状に形成され、複数の開口部Hの間に配置された複数の棧61が設けられている。各棧61は、長手方向Xに延在しており、短手方向Yにおける各開口部Hの両側に設けられている。液通過部6の下面21bは、複数の棧61の各々の下面61aによって構成されている。

[0043] 図4及び図5に示されるように、液通過部6の下面21bには、上方向に向く弧状のアーチ部63が複数連続して形成された液誘導部62が形成されている。液誘導部62は、複数の開口部Hを通過する尿を上面21a側から下面21b側へと好適に誘導可能に構成された部分である。本実施形態では、各棧61の下面61aの中央部が上方に凹んだ弧状に形成されることにより、アーチ部63が形成されている。すなわち、各アーチ部63は、各棧61の下面61aによって構成されている。このような複数のアーチ部63が長手方向Xに連続して形成されることにより、長手方向Xに隣り合う2つのアーチ部63（隣り合う2つの棧61の下面61a）の間の部分61b（すなわち、アーチ部63の中央部よりも下方に突出した部分）に尿が集まり易

くなる。その結果、当該部分 6 1 b に集まった尿が下方に落下し易くなる。

[0044] 側壁部 2 2 のうち一辺に対応する部分（本実施形態では、長手方向 X に延在する一辺部）には、動物を上容器 2 の内部に進入させるための進入口として機能する凹部 2 2 a が設けられている。凹部 2 2 a は、上容器 2 の内部から動物を退出させる退出口としても機能する。なお、側壁部 2 2 は、上容器 2 に載置される複数の粒状物を入れたり掬ったりするための部材（例えば、スコップ）を配置するための機能を有してもよい。例えば、側壁部 2 2 の上端部は、上記部材の持ち手部分に設けられた突出部（係止部）を引っ掛けることが可能な形状及び厚みを有するように構成されてもよい。或いは、側壁部 2 2 の外面 2 2 b 等に、上記部材を収容するためのケース等が取り付けられてもよい。

[0045] 図 2、図 4 及び図 5 に示されるように、下容器 3 は、載置面 3 1 と、側壁部 3 2（シート配置部、第 2 壁部）と、一对の取手部 3 3 と、一对の取手部 3 4 と、を有している。

[0046] 載置面 3 1 は、液通過部 6 を通過した尿を吸収するペットシート 5 が載置される面である。載置面 3 1 は、上容器 2 の底壁部 2 1 に対向する位置において、底壁部 2 1 に設けられた液通過部 6 の全体と上下方向 Z に重なるように配置される。

[0047] 側壁部 3 2 は、載置面 3 1 の外縁部 3 1 a に接続され、当該外縁部 3 1 a から上方に延びる部分である。側壁部 3 2 は、ペットシート 5 の縁部を沿わせて配置するためのシート配置部として機能する。側壁部 3 2 は、長手方向 X に対向する一对の側壁部 3 2 A と、短手方向 Y に対向する一对の側壁部 3 2 B と、によって構成されている。角部において隣り合う側壁部 3 2 A と側壁部 3 2 B とは、互いに連続するように一体的に形成されている。

[0048] 一对の取手部 3 3 は、長手方向 X に対向する一对の側壁部 3 2 A の短手方向 Y における略中央部に設けられている。各取手部 3 3 は、各側壁部 3 2 A の頂部 3 2 b から長手方向 X における外側に向かって延在している。

[0049] 一对の取手部 3 4 は、短手方向 Y に対向する一对の側壁部 3 2 B の長手方

向Xにおける略中央部に設けられている。各取手部34は、各側壁部32Bの頂部32bから短手方向Yにおける外側に向かって延在している。

[0050] 図5及び図6において、下容器3上に載置されるペットシート5の輪郭を破線によって模式的に表している。一例として、ペットシート5は、平面視において、載置面31よりも大きい略矩形状に形成されており、液透過性の表面シート5a（下容器3上に載置された際に上側に配置されるシート）と、裏面シート5b（下容器3上に載置された際に下側に配置されるシート）と、表面シート5a及び裏面シート5bの間に配置される吸収体（不図示）と、を有している。吸収体は、尿を吸収するためのパルプ、SAP等を含む吸収性コアを含んでおり、平面視においてペットシート5の略中央部に配置される。ペットシート5のうち吸収体が配置されない部分（すなわち、ペットシート5の略中央部よりも外側の縁部）には、ペットシート5のうち吸収体が配置された略中央部よりも薄く、吸収体の縁部に沿って容易に折り曲げることが可能なフラップ部5cが形成されている。

[0051] 本実施形態では、図5に示されるように、ペットシート5の短手方向Yに沿って延在する一对のフラップ部5c1（長手方向Xに対向するペットシート5の一对の辺部に設けられたフラップ部5c）が一对の側壁部32Aの内面32aに沿うように、ペットシート5が下容器3上に配置される。また、図6に示されるように、ペットシート5の長手方向Xに沿って延在する一对のフラップ部5c2（短手方向Yに対向するペットシート5の一对の辺部に設けられたフラップ部5c）が一对の側壁部32Bの内面32aに沿うように、ペットシート5が下容器3上に配置される。一例として、側壁部32A、32Bの内面32aは、上下方向Zに対して傾斜する傾斜面として構成されている。ただし、側壁部32A、32Bの内面32aは、曲面状に形成されてもよいし、上下方向Zに略平行に形成されてもよい。

[0052] このように、下容器3に側壁部32A、32Bが設けられ、ペットシート5（本実施形態では、フラップ部5c）が側壁部32A、32Bの内面32aに沿うように配置されることにより、下容器3に載置されるペットシート

5の最大高さ位置を側壁部32A、32Bの最上部である頂部32bまで到達させることができる。また、図5及び図6に示されるように、上容器2と下容器3とを上下方向Zに重ねた使用状態において、側壁部32A、32Bの頂部32bは、液通過部6の最下部（本実施形態では、長手方向Xに隣合う棧61の間の部分61bの下面61a）よりも上方に位置する。これにより、本実施形態では、ペットシート5の最大高さ位置を液通過部6の最下部よりも上方まで到達させることが可能に構成されている。

[0053] 以下、システムトイレ1のいくつかの作用効果について説明する。システムトイレ1では、ペットシート5の縁部（本実施形態では、フラップ部5c）が側壁部32A、32B（シート配置部）に沿うように、ペットシート5が下容器3にセットされる。側壁部32A、32Bの最上部（頂部32b）は、上容器2の底壁部21の液通過部6（すなわち、複数の開口部Hを介して尿を下容器3側に落下させる部分）の最下部（部分61bの下面61a）よりも上方に位置するため、ペットシート5の縁部の高さ位置を液通過部6の最下部よりも高い位置まで到達させることが可能となる。その結果、液通過部6から落下した尿がペットシート5の外側に漏れ難くなる。また、このように構成することにより、液通過部6の最下部と下容器3に載置されたペットシート5（吸液して膨張したペットシート5）との上下方向Zの距離を好適に近づける（或いは接触させる）ことができるため、液通過部6からペットシート5への尿の移行を促進させることができる。その結果、ペットシート5に吸収されずに残る尿の量を低減でき、悪臭の発生を抑制することができる。

[0054] さらに、システムトイレ1では、単純に下容器3の上に上容器2を重ねて配置することで使用状態にすることができる。これにより、ペットシート5の交換時に、従来のトレー引き出し型のペット用システムトイレにおいて必要とされていたトレーを引き出す作業が発生しない。このため、シート交換時において、ペットシート5が上容器2等に引っかかって意図しない破れや変形が発生することを抑制でき、これらに起因する尿漏れの発生も回避でき

る。

[0055] さらに、システムトイレ1では、液通過部6の下面21bには、上方向に向く弧状のアーチ部63（栈61の下面61a）が複数連続して形成された液誘導部62が設けられている。また、図5に示されるように、側壁部32A、32Bの頂部32bは、アーチ部63の最上部（すなわち、アーチ部63（栈61の下面61a）の最も上方に凹んだ略中央部）よりも上方に位置する。上記構成によれば、液誘導部62によって、尿を下容器3へと効果的に移行（落下）させることができる。さらに、側壁部32A、32Bの最上部の高さ位置が液誘導部62のアーチ部63の最上部（最も上側に凹んだ部分）よりも高い位置に設定されていることにより、ペットシート5の外側への尿漏れを抑制する効果をより一層高めることができる。

[0056] 図5及び図6に示されるように、液通過部6の面積（すなわち、上下方向Zから見た場合に液通過部6が占める領域の面積）は、載置面31の面積よりも小さく、側壁部32A、32Bの外縁部（側壁部32A、32Bのうち最も外側の部分であり、本実施形態では頂部32b）は、液通過部6の外縁部6aよりも外側に位置する。上記構成によれば、液通過部6から下容器3へと落下する尿を、ペットシート5のなるべく中央部（すなわち、吸収体が配置された領域）に導くことができるため、ペットシート5の外側への尿漏れを抑制する効果をより一層高めることができる。

[0057] さらに、システムトイレ1では、載置面31の外縁部31a（側壁部32A、32Bの下端部が接続される縁部）は、液通過部6の外縁部6aよりも外側に位置する。すなわち、液通過部6は、ペットシート5のフラップ部5cが配置される領域（側壁部32A、32Bの内面32a）よりも内側に配置されている。上記構成によれば、上述した効果（すなわち、液通過部6から下容器3へと落下する尿を、ペットシート5のなるべく中央部に導く効果）をより一層高めることができる。

[0058] 一例として、液通過部6の最下部と載置面31との距離d（図5参照）は、25mm以下である。上記構成によれば、ある程度の尿を吸収して膨張し

たペットシート5の表面（表面シート5aの上面）と液通過部6の最下部（尿が集まり易い部分61b）とを接触（或いは近接）させることが可能となるため、液通過部6からペットシート5への尿の移行を効果的に促進させることができる。その結果、悪臭の発生を好適に抑制することができる。

[0059] 液通過部6の厚さ t_1 （図5参照）は、底壁部21において液通過部6が設けられていない部分の厚さ t_2 （図5参照）よりも大きい。一例として、液通過部6の厚さ t_1 は、5mm以上である。上記構成によれば、底壁部21のうち液通過部6が設けられた部分を他の部分よりも厚くすることにより、液通過部6の撓みを抑制し、液通過部6からペットシート5への尿の移行をより一層効果的に促進させることができる。

[0060] 図5及び図6に示されるように、液通過部6の上面21aは、底壁部21において液通過部6が設けられていない部分の上面21aと連続している。一方、液通過部6の下面21bは、底壁部21において液通過部6が設けられていない部分の下面21bよりも下方に突出している。すなわち、上述したように、液通過部6の下面21bには、下方に突出する複数の棧61が形成されている。上記構成によれば、液通過部6を下方に突出させることにより、液通過部6の最下部（部分61b）を下容器3の載置面31に載置されるペットシート5に効果的に近づけることができる。これにより、側壁部32A、32Bの高さをそれほど高くしなくても、側壁部32A、32Bの頂部32bが液通過部6の最下部（部分61b）よりも上方に位置する構成を実現することができる。

[0061] 図5及び図6に示されるように、側壁部32A、32Bの内面32aは、上容器2の側壁部22の外表面22bよりも内側に位置している。すなわち、システムトイレ1は、後述する第1変形例のシステムトイレ1Aのように下容器3Aの内側に上容器2Aを収める構成ではなく、上容器2の下方のスペースに下容器3の全体が収容される構成を有している。これにより、下容器3の幅寸法（長手方向X又は短手方向Yの寸法）を上容器2の幅寸法よりも小さくすることができるため、システムトイレ1をコンパクト化することが

できる。

[0062] 図1、図2及び図4～図6に示されるように、上容器2は、床面に支持されて下容器3を包囲するように配置される支持壁部23を有している。支持壁部23の少なくとも一つの面を構成する部分（第3壁部。本実施形態では、全ての面に対応する4つの部分）には、床面との間に空間を形成する凹部23aが設けられている。下容器3は、支持壁部23のうち長手方向Xに沿った部分23Aに設けられた凹部23aに対応する位置に配置される一対の取手部34を有している。図1及び図6に示されるように、各取手部34の全体は、部分23Aよりも短手方向Yの内側に配置される。上記構成によれば、取手（取手部34）の外側に位置する上容器2の底面（例えば、部分23Aの凹部23aの内面）を掴むことによって、上容器2だけを容易に上方に持ち上げることができる。このような取り外し構造により、シート交換時に、ペットシート5が上容器2に引っかかって破損するリスクを低減できる。また、上記取り外し構造によれば、上容器2を下容器3に対して横方向（上下方向Zに直交する方向）にスライドさせる必要がないため、側壁部32A、32Bの最上部（頂部32b）の位置をある程度高くしたとしても、シート交換時等に液通過部6と側壁部32A、32Bとが干渉することを回避できる。

[0063] なお、本実施形態では、支持壁部23のうち短手方向Yに沿った部分23Bに設けられた凹部23aに対応する位置に配置される一対の取手部33の一部（外側端部を含む部分）は、部分23Bよりも長手方向Xの外側に配置されている。このため、システムトイレ1のユーザは、一対の取手部33を持ち上げることにより、下容器3と共に上容器2を容易に持ち運ぶことができる。このように、一方向（長手方向X）に対向するように配置された一対の取手部33については支持壁部23（部分23B）よりも外側に突出するように構成し、上記一方向に交差する方向（短手方向Y）に対向するように配置された一対の取手部34については支持壁部23（部分23A）よりも外側に突出しないように構成することにより、ユーザの利便性を向上させる

ことができる。すなわち、下容器 3 から上容器 2 を取り外す場合（すなわち、上容器 2 だけを持ち上げる場合）には、一对の取手部 3 4 が設けられた部分（一对の取手部 3 4 よりも外側の部分）に手を入れて上容器 2 だけを容易に持ち上げることができる。一方、システムトイレ 1 の全体（すなわち、上容器 2 及び下容器 3）を持ち運びたい場合には、一对の取手部 3 3 を持ち上げることによって、システムトイレ 1 の全体を容易に持ち運ぶことができる。

[0064] なお、下容器 3 の取手部の形態は、本実施形態の構成（すなわち、支持壁部 2 3（部分 2 3 B）よりも外側に突出するように設けられた一对の取手部 3 3 及び支持壁部 2 3（部分 2 3 A）よりも外側に突出しないように設けられた一对の取手部 3 4 を備える構成）に限られない。例えば、本実施形態とは逆に、一对の取手部 3 3 が支持壁部 2 3（部分 2 3 B）よりも外側に突出しないように設けられると共に、一对の取手部 3 4 が支持壁部 2 3（部分 2 3 A）よりも外側に突出するように設けられてもよい。また、取手部 3 3，3 4 の両方（計 4 つの取手部の全て）が支持壁部 2 3 よりも外側に突出するように設けられてもよいし、それとは逆に、取手部 3 3，3 4 の両方（計 4 つの取手部の全て）が支持壁部 2 3 よりも外側に突出しないように設けられてもよい。また、下容器 3 には、一对の取手部 3 3 及び一对の取手部 3 4 のうちのいずれか一方の取手対（計 2 つの取手部）のみが設けられてもよい。この場合において、当該取手対は、支持壁部 2 3 よりも外側に突出するように設けられてもよいし、支持壁部 2 3 よりも外側に突出しないように設けられてもよい。また、後述する第 2 変形例（図 8 参照）のように、下容器 3 には取手部が設けられなくてもよい。

[0065] 下容器 3 に上容器 2 が重ねられた使用状態（図 1）において、上容器 2 の第 1 部分（本実施形態では、部分 2 3 B の凹部 2 3 a）と下容器 3 の第 2 部分（本実施形態では、一对の取手部 3 3）とが互いに位置決めされることにより、下容器 3 に対する上容器 2 の横方向（本実施形態では、少なくとも短手方向 Y）の移動が抑制されるように構成されている。すなわち、本実施形

態では、支持壁部 2 3 の部分 2 3 B の凹部 2 3 a に取手部 3 3 の一部がはまり込むことにより、下容器 3 に対して上容器 2 がずれないように適切に位置決めされる。上記構成によれば、上容器 2 を下容器 3 の上に重ねて使用状態にする際に、下容器 3 の第 2 部分（一对の取手部 3 3）に対して上容器 2 の第 1 部分（部分 2 3 B の凹部 2 3 a）の位置を合わせることで、下容器 3 に対して上容器 2 を正しく設置することが容易となる。その結果、使用状態において、上容器 2 の液通過部 6 と下容器 3 の側壁部 3 2 A, 3 2 B との位置関係を適切に維持することができるため、側壁部 3 2 A, 3 2 B の外側（すなわち、ペットシート 5 の外側）への尿漏れを好適に抑制することができる。

[0066] なお、上述したシート配置部（本実施形態では、側壁部 3 2）の最上部（頂部 3 2 b）の高さ（載置面 3 1 からの高さ）は、例えば定規等を用いて測定することができる。また、液通過部 6 の最下部の載置面 3 1 からの高さについても、同様に定規等を用いて測定することができる。ただし、液通過部 6 の最下部の載置面 3 1 からの高さを直接測定することが難しい場合には、例えば以下のように測定してもよい。すなわち、液通過部 6 の開口部 H の上方から定規を差し込むことにより、載置面 3 1 から液通過部 6 の最上部（上面 2 1 a）までの長さ（第 1 長さ）を測定する。また、液通過部 6 の厚さ（液通過部 6 の最上部から最下部までの長さ）についても、同様の方法によって測定する。上記のように測定された第 1 長さから液通過部 6 の厚さを差し引くことにより、液通過部 6 の最下部の載置面 3 1 からの高さを求めることができる。ただし、上記測定方法は一例であり、各寸法は上記とは異なる方法によって測定されてもよい。

[0067] [変形例]

以上、本開示の実施形態について説明したが、本開示は、上記実施形態に限られない。各構成の材料及び形状には、上述した材料及び形状に限らず、様々な材料及び形状を採用することができる。また、上述した実施形態の構成に含まれる一部の構成は、変更又は省略されてもよいし、他の構成が付加

されてもよい。例えば、上記実施形態では、最大高さ位置（上端部）が同一平面上に位置する側壁部 3 2 をシート配置部の一例として例示したが、シート配置部の上端部は、必ずしも一定でなくてもよい。また、シート配置部（側壁部 3 2）の上端面には、ペットシート 5 の一部（例えば角部）を固定するための構造（例えば、ペットシート 5 の角部を下容器の外側に出るように挿通させて引っ掛けるための孔部等）が設けられてもよい。以下、その他の具体的ないくつかの変形例について記載する。

[0068] （第 1 変形例）

図 7 を参照して、第 1 変形例に係るペット用システムトイレ（以下、「システムトイレ 1 A」という。）について説明する。システムトイレ 1 A は、上容器 2 A が下容器 3 A の内側に配置される点において、システムトイレ 1 と主に相違している。下容器 3 A は、箱状（バスタブ状）の容器である。下容器 3 A では、ペットシート 5 の縁部（例えばフラップ部 5 c）が沿う部分 3 5 a（シート配置部）を含む側壁部 3 5 が、載置面 3 1 の外縁部から上方に延びている。一例として、上容器 2 A は、下容器 3 A の側壁部 3 5 の上端部に引っ掛けられることにより、底壁部 2 1 が下容器 3 A の載置面 3 1 よりも上方に離隔した位置に配置された状態で、下容器 3 A に対して支持されるように構成されている。上容器 2 A の底壁部 2 1 には、上述した上容器 2 の底壁部 2 1 と同様の液通過部 6 が設けられている。なお、下容器 3 A に対して上容器 2 A を支持する構成は、図 7 の例に限られない。例えば、下容器 3 A の内側に上容器 2 A の底壁部 2 1 の一部を支持するための支持台（例えば、側壁部 3 5 の一部と一体的に形成されて、内側に突出する部分）が設けられてもよい。

[0069] 一例として、下容器 3 A の側壁部 3 5 の部分 3 5 a は、側壁部 3 5 のうち、ペットシート 5 の縁部を沿わせるために傾斜した傾斜面を有する部分である。傾斜面は曲面状に形成されてもよい。いずれにしても、部分 3 5 a は、側壁部 3 5 のうちペットシート 5 の縁部を沿わせることを意図した部分であり、曲率の急激な変化等によって側壁部 3 5 の他の部分と区別可能に構成さ

れた部分であればよい。図7の例では、側壁部35のうち傾斜面として構成された部分35aよりも上の部分は、上下方向に略平行に延びるように形成されている。この場合、部分35aの最上部35bは、傾斜面の上端部（すなわち、載置面31の縁部から上下方向に対して傾斜して上方に延びる部分と上下方向に略平行に延びる部分との境界部）として定義される。

[0070] システムトイレ1Aにおいても、システムトイレ1と同様に、上容器2Aと下容器3Aとを上下方向に重ねた使用状態において、下容器3Aの側壁部35の部分35a（シート配置部）の最上部35b（図7に示されるラインL2上に位置する部分）は、液通過部6の最下部（図7に示されるラインL1上に位置する部分）よりも上方に位置する。このような構成によっても、システムトイレ1と同様に、ペットシート5の最大高さ位置を液通過部6の最下部よりも上方まで到達させることが可能となるため、システムトイレ1と同様の効果（すなわち、液通過部6から落下した尿がペットシート5の外側に漏れ難くなると共に、液通過部6からペットシート5へと尿が移行し易くなる効果）が得られる。

[0071] （第2変形例）

図8及び図9を参照して、第2変形例に係るペット用システムトイレ（以下、「システムトイレ1B」という。）について説明する。システムトイレ1Bは、使用状態において、上容器2Bが下容器3Bに対してより強固に固定される点において、システムトイレ1と相違している。より具体的には、システムトイレ1Bの上容器2Bでは、支持壁部23のうち長手方向Xに対向する部分23Bにおいて、凹部23aの代わりに、短手方向Yに横長の楕円状の開口部23bが設けられている。また、システムトイレ1Bの下容器3Bには、一对の取手部33の代わりに、開口部23bに嵌合するように側壁部32Aの外側に突出する突出部36が設けられている。図9に示されるように、上容器2Bを下容器3Bの上方から下方に押し込むことにより、突出部36が支持壁部23の部分23Bの開口部23bに嵌合する。図9に示される状態から、突出部36の外面を矢印Aの方向に内側に押し込むことに

より開口部 2 3 b に対する突出部 3 6 の嵌合が解除され、下容器 3 B に対して上容器 2 B を上方に引き上げる（すなわち、下容器 3 B から上容器 2 B を取り外す）ことが可能となる。システムトイレ 1 B によれば、上容器 2 B の第 1 部分（開口部 2 3 b）と下容器 3 B の第 2 部分（突出部 3 6）とが互いに位置決め及び固定（嵌合）されることにより、下容器 3 B に対する上容器 2 B の横方向（長手方向 X 及び短手方向 Y）の移動を抑制できると共に、上下方向 Z の移動も抑制できる。

[0072] また、その他様々な変形がされてもよい。例えば、ペットシート 5 で吸収可能な量を超える尿が上容器 2 から下容器 3 へと流れた場合には、下容器 3 の載置面 3 1 上に尿が溜まる場合がある。このような尿を容易に排出するための窪みが下容器 3 の側壁部 3 2（例えば、側壁部 3 2 A と側壁部 3 2 B とが接続される角部）に設けられてもよい。

[0073] また、上記実施形態では、下容器 3 の載置面 3 1 は、平面視（上下方向 Z から見た場合）において略矩形状を有している。また、下容器 3 は、上下方向 Z に直交する長手方向 X（第 1 方向）の両側において載置面 3 1 の外縁部 3 1 a（短手方向 Y に沿った外縁部）から上方に立ち上がりつつ短手方向 Y（第 2 方向）に沿って設けられた一对の側壁部 3 2 A（第 1 側壁部）と、短手方向 Y の両側において載置面 3 1 の外縁部 3 1 a（長手方向 X に沿った外縁部）から上方に立ち上がりつつ長手方向 X に沿って設けられた一对の側壁部 3 2 B（第 2 側壁部）と、を有している。下容器 3 は、上記のような構成を前提として、図 1 0 に示される構成を更に備えてもよい。図 1 0 は、下容器 3 の一の隅部を含む部分の平面図である。図 1 0 に示されるように、載置面 3 1 の四隅の各々において、側壁部 3 2 A の短手方向 Y の端部には、短手方向 Y の外側（図 1 0 の例では図示上方向）に向かうにつれて側壁部 3 2 A（内面 3 2 a）が長手方向 X の外側（図 1 0 の例では図示左方向）に変位するように構成された第 1 変位部 3 2 A a が形成されていると共に、側壁部 3 2 B の長手方向 X の端部には、長手方向 X の外側に向かうにつれて側壁部 3 2 B（内面 3 2 a）が短手方向 Y の外側に変位するように構成された第 2 変

位部 3 2 B a が形成されていてもよい。

[0074] 図 10 に示した上記構成によれば、下容器 3 上にペットシートが載置された際に、載置面 3 1 の四隅の各々の側壁部 3 2 A と側壁部 3 2 B とが交差する隅部 C に配置されるペットシートの角部に対して長手方向 X 及び短手方向 Y から付与される各折り曲げ動作を、第 1 変位部 3 2 A a 及び第 2 変位部 3 2 B a によって緩和することができる。これにより、当該ペットシートの角部が起立することを抑制し、ペットシートと下容器 3 の隅部 C との間の隙間が生じることを抑制することができる。その結果、下容器 3 上に載置されたペットシートの外側への尿漏れをより一層効果的に抑制することができる。

符号の説明

[0075] 1, 1 A, 1 B…システムトイレ（ペット用システムトイレ）、2, 2 A, 2 B…上容器、3, 3 A, 3 B…下容器、5…ペットシート、6…液通過部、6 a…外縁部、2 1…底壁部、2 1 a…上面、2 1 b…下面、2 2…側壁部（第 1 壁部）、2 2 b…外面、2 3…支持壁部、2 3 a…凹部、3 1…載置面、3 1 a…外縁部、3 2…側壁部（シート配置部）、3 2 A…側壁部（シート配置部、第 1 側壁部）、3 2 B…側壁部（シート配置部、第 2 側壁部）、3 2 A a…第 1 変位部、3 2 B a…第 2 変位部、3 2 a…内面、3 3, 3 4…取手部、3 5 a…部分（シート配置部）、6 2…液誘導部、6 3…アーチ部、H…開口部。

請求の範囲

- [請求項1] 複数の開口部を有する液通過部が設けられた底壁部を有する上容器と、
- 前記上容器と重なるように前記上容器の下方に配置され、前記液通過部を通過した液体を吸収するペットシートが載置される載置面を有する下容器と、を備え、
- 前記下容器は、前記載置面の外縁部に接続され、前記ペットシートの縁部を沿わせて配置するためのシート配置部を有し、
- 前記シート配置部の最上部は、前記液通過部の最下部よりも上方に位置する、ペット用システムトイレ。
- [請求項2] 前記液通過部の下面には、上方向に向く弧状のアーチ部が複数連続して形成された液誘導部が設けられており、
- 前記シート配置部の最上部は、前記アーチ部の最上部よりも上方に位置する、請求項1に記載のペット用システムトイレ。
- [請求項3] 前記液通過部の面積は、前記載置面の面積よりも小さく、
- 前記シート配置部の外縁部は、前記液通過部の外縁部よりも外側に位置する、請求項1に記載のペット用システムトイレ。
- [請求項4] 前記液通過部の面積は、前記載置面の面積よりも小さく、
- 前記載置面の外縁部は、前記液通過部の外縁部よりも外側に位置する、請求項1に記載のペット用システムトイレ。
- [請求項5] 前記液通過部の最下部と前記載置面との距離は、25mm以下である、請求項1に記載のペット用システムトイレ。
- [請求項6] 前記液通過部の厚さは、前記底壁部において前記液通過部が設けられていない部分の厚さよりも大きい、請求項1に記載のペット用システムトイレ。
- [請求項7] 前記液通過部の厚さは、5mm以上である、請求項1に記載のペット用システムトイレ。
- [請求項8] 前記液通過部の前記開口部の幅は、2.5mm以下である、請求項

1 に記載のペット用システムトイレ。

[請求項9] 前記液通過部の上面は、前記底壁部において前記液通過部が設けられていない部分の上面と連続しており、

前記液通過部の下面は、前記底壁部において前記液通過部が設けられていない部分の下面よりも下方に突出している、請求項 1 に記載のペット用システムトイレ。

[請求項10] 前記上容器は、前記底壁部の縁部から上方に延びる第 1 壁部を有し、

前記シート配置部は、前記載置面の縁部から上方に延びる第 2 壁部を有し、

前記第 2 壁部の内面は、前記第 1 壁部の外面よりも内側に位置している、請求項 1 に記載のペット用システムトイレ。

[請求項11] 前記上容器は、床面に支持されて前記下容器を包囲するように配置される支持壁部を有し、

前記支持壁部の少なくとも一つの面を構成する第 3 壁部には、前記床面との間に空間を形成する凹部が設けられており、

前記下容器は、前記凹部に対応する位置に配置される取手部を有し、

前記取手部の全体は、前記第 3 壁部よりも内側に配置される、請求項 1 に記載のペット用システムトイレ。

[請求項12] 前記下容器に前記上容器が重ねられた使用状態において、前記上容器の第 1 部分と前記下容器の第 2 部分とが互いに位置決めされることにより、前記下容器に対する前記上容器の横方向の移動が抑制されるように構成されている、請求項 1 に記載のペット用システムトイレ。

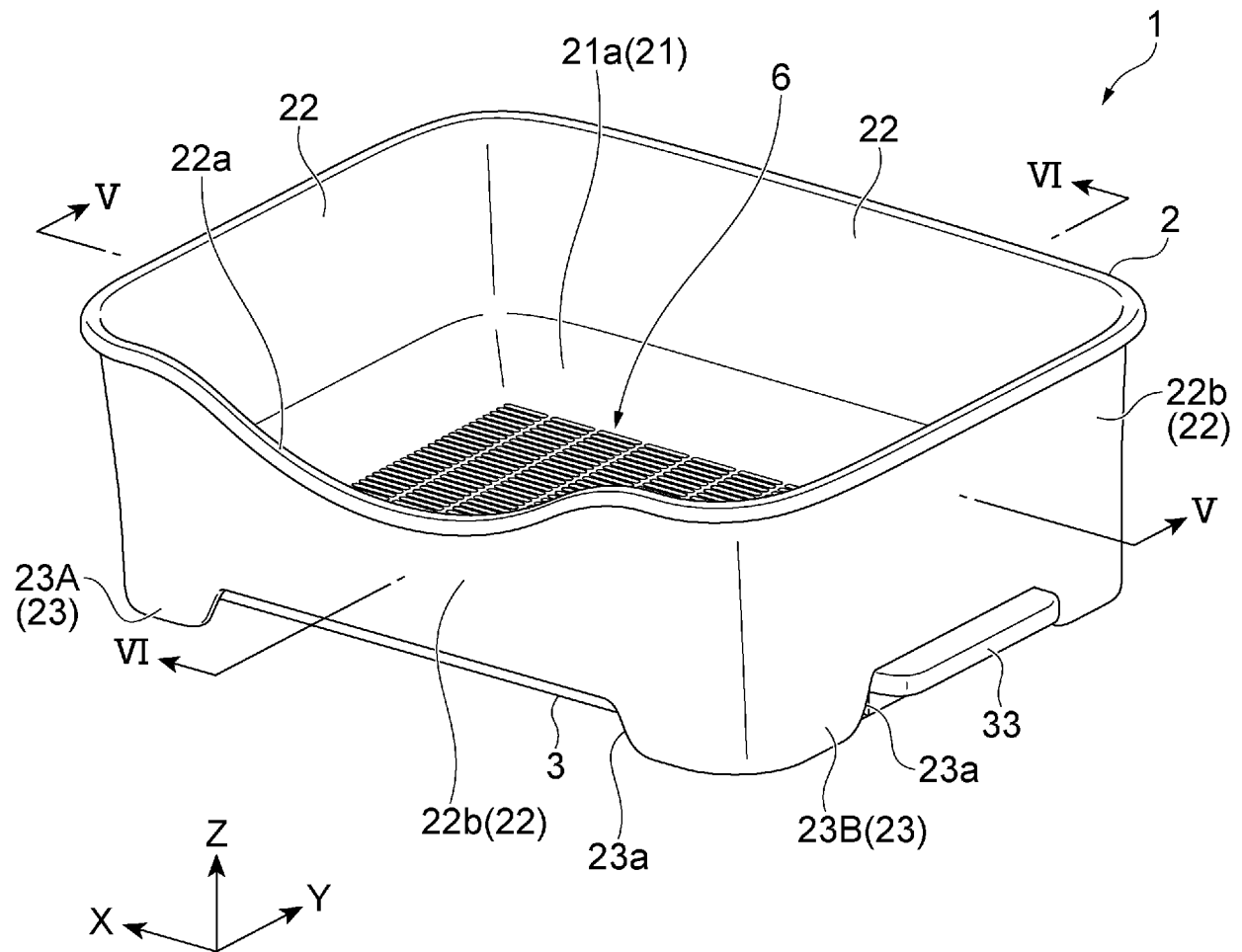
[請求項13] 前記下容器の前記載置面は、平面視において略矩形状を有しており、

前記下容器は、上下方向に直交する第 1 方向の両側において前記載置面の外縁部から上方に立ち上がりつつ前記上下方向及び前記第 1 方

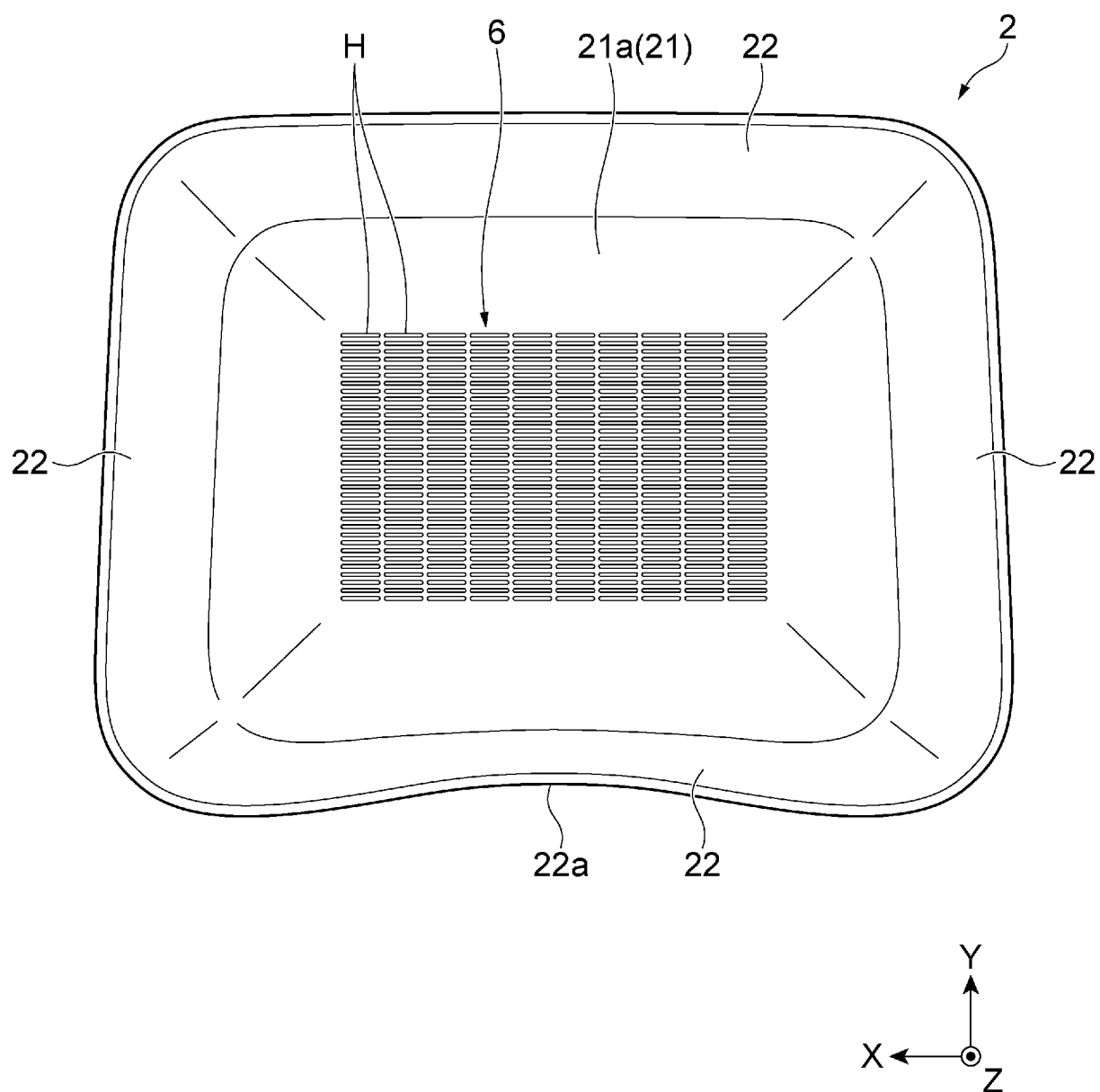
向に直交する第2方向に沿って設けられた一対の第1側壁部と、前記第2方向の両側において前記載置面の外縁部から上方に立ち上がりつつ前記第1方向に沿って設けられた一対の第2側壁部と、を有し、

前記載置面の四隅の各々において、前記第1側壁部の前記第2方向の端部には、前記第2方向の外側に向かうにつれて前記第1側壁部が前記第1方向の外側に変位するように構成された第1変位部が形成されていると共に、前記第2側壁部の前記第1方向の端部には、前記第1方向の外側に向かうにつれて前記第2側壁部が前記第2方向の外側に変位するように構成された第2変位部が形成されている、請求項1に記載のペット用システムトイレ。

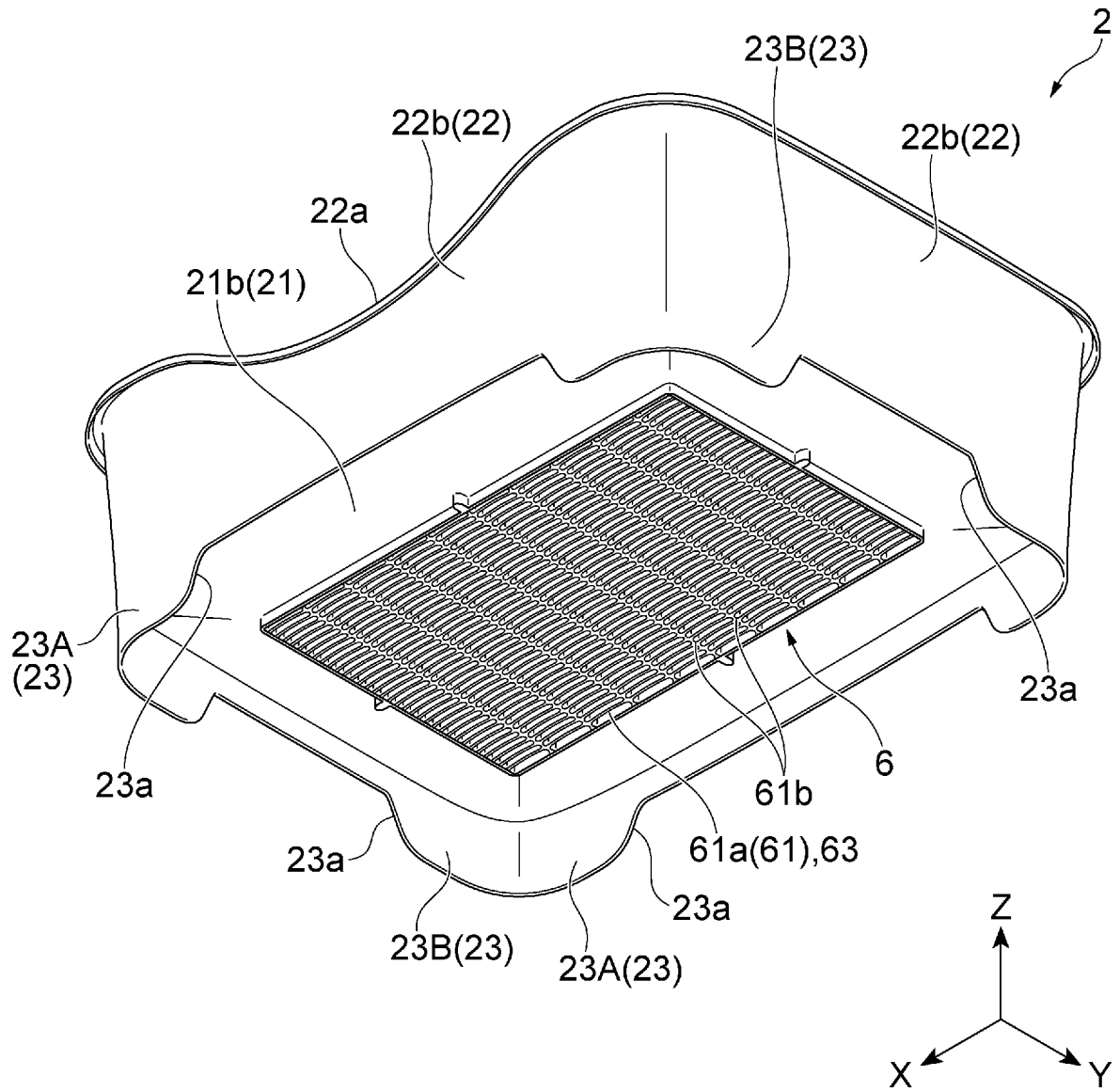
[図1]



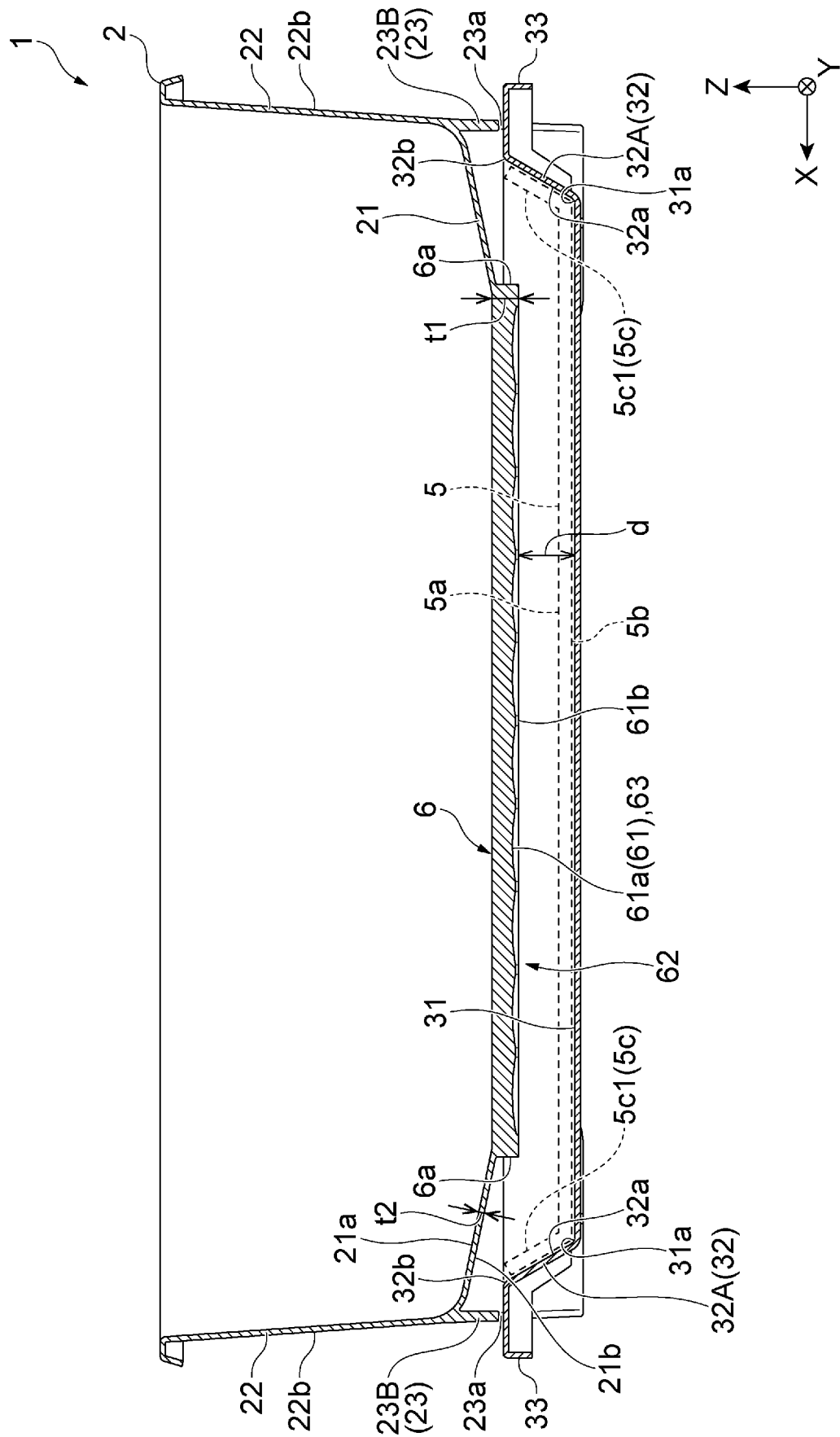
[図3]



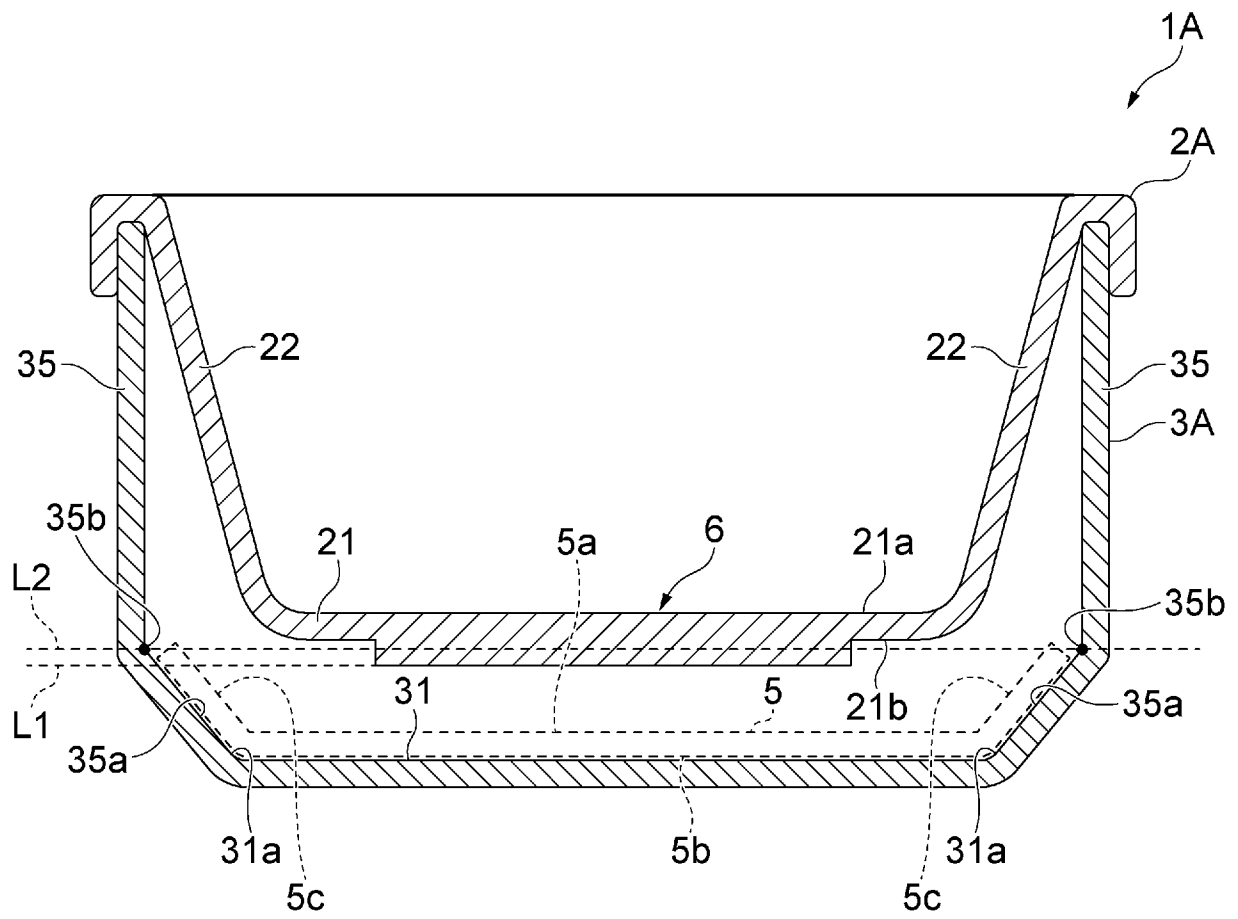
[図4]



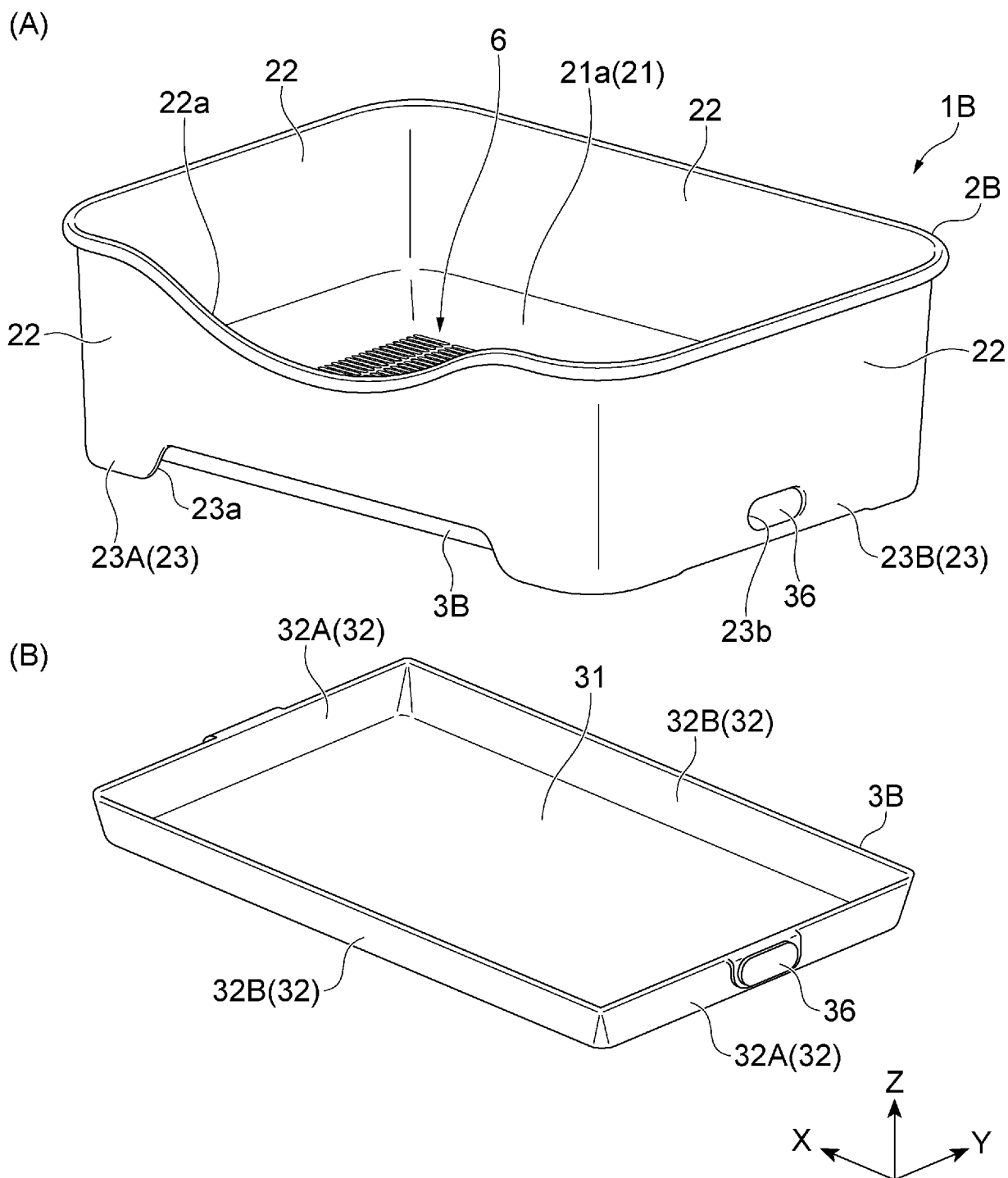
[図5]



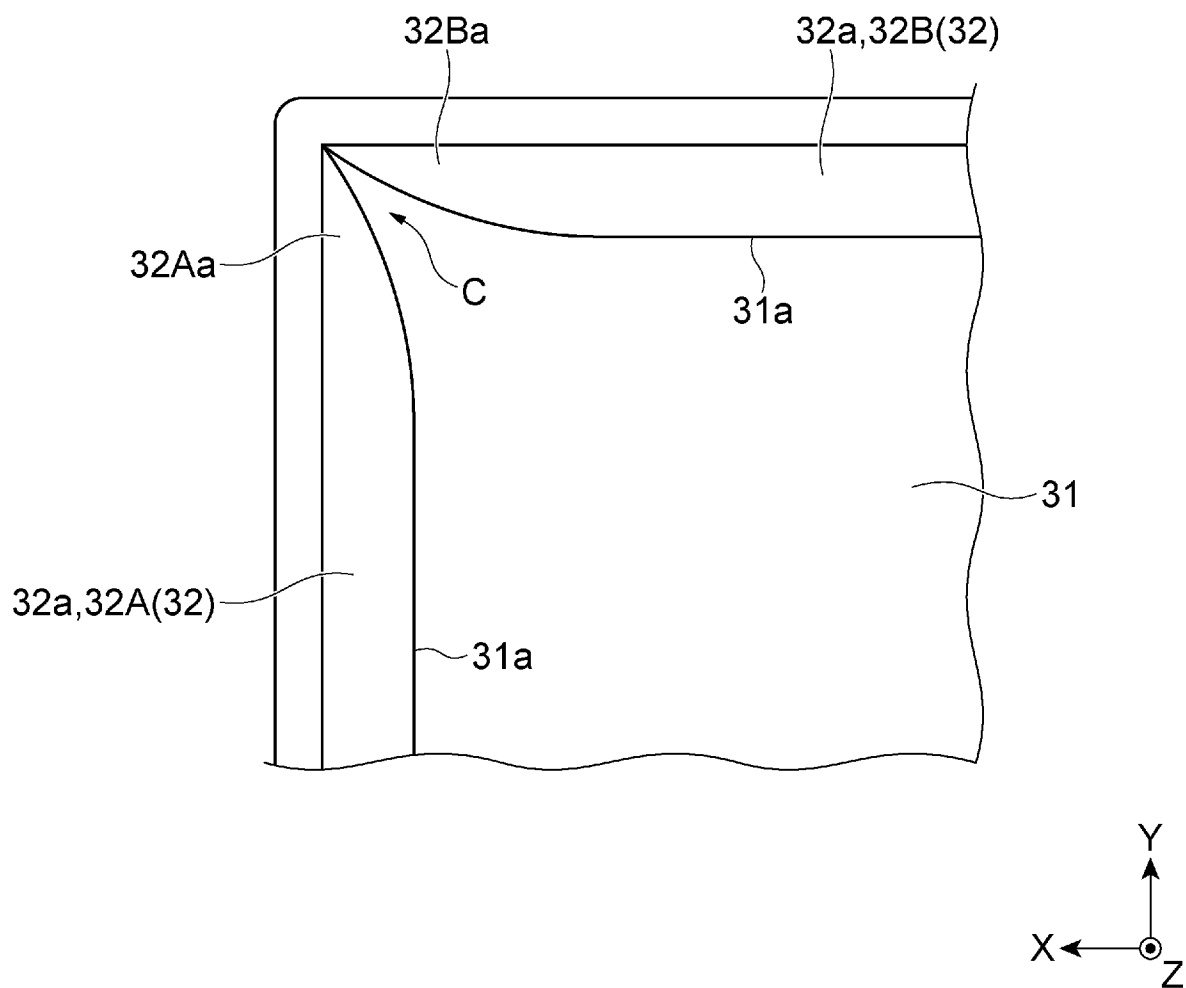
[図7]



[図8]



[図10]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2024/039160

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER A01K 1/01 (2006.01)i FI: A01K1/01 801A According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
B. FIELDS SEARCHED Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) A01K1/00-3/00,31/00-31/24 Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched Published examined utility model applications of Japan 1922-1996 Published unexamined utility model applications of Japan 1971-2024 Registered utility model specifications of Japan 1996-2024 Published registered utility model applications of Japan 1994-2024 Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 2022-67386 A (UNI-CHARM CO., LTD.) 06 May 2022 (2022-05-06) paragraphs [0010]-[0148], fig. 1-18	1-13
Y	JP 6857913 B2 (KABUSHIKI KAISHA SANKO SHOKAI) 14 April 2021 (2021-04-14) paragraphs [0009]-[0024], fig. 1-9	1-13
Y	JP 2016-158622 A (UNI-CHARM CO., LTD.) 05 September 2016 (2016-09-05) paragraphs [0052]-[0064], fig. 11-12	13
☐ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☒ See patent family annex.		
* Special categories of cited documents: “A” document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance “D” document cited by the applicant in the international application “E” earlier application or patent but published on or after the international filing date “L” document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) “O” document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means “P” document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed “T” later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention “X” document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone “Y” document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art “&” document member of the same patent family		
Date of the actual completion of the international search 05 December 2024		Date of mailing of the international search report 24 December 2024
Name and mailing address of the ISA/JP Japan Patent Office (ISA/JP) 3-4-3 Kasumigaseki, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8915 Japan		Authorized officer Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT
Information on patent family members

International application No.
PCT/JP2024/039160

Patent document cited in search report			Publication date (day/month/year)	Patent family member(s)			Publication date (day/month/year)
JP	2022-67386	A	06 May 2022	US	2023/0255175	A1	
				paragraphs [0062]-[0244], fig. 1-18			
				WO	2022/085518	A1	
				EP	4212013	A1	
				CN	116322316	A	
				KR	10-2023-0085152	A	
JP	6857913	B2	14 April 2021	CN	210929054	U	
JP	2016-158622	A	05 September 2016	(Family: none)			

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（IPC））

A01K 1/01(2006.01)i
FI: A01K1/01 801A

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（IPC））
A01K1/00-3/00, 31/00-31/24

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの
日本国実用新案公報 1922-1996年
日本国公開実用新案公報 1971-2024年
日本国実用新案登録公報 1996-2024年
日本国登録実用新案公報 1994-2024年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y	JP 2022-67386 A (ユニ・チャーム株式会社) 06.05.2022 (2022 - 05 - 06) [0010]－[0148], [図1]－[図18]	1-13
Y	JP 6857913 B2 (株式会社三晃商会) 14.04.2021 (2021 - 04 - 14) [0009]－[0024], [図1]－[図9]	1-13
Y	JP 2016-158622 A (ユニ・チャーム株式会社) 05.09.2016 (2016 - 09 - 05) [0052]－[0064], [図11]－[図12]	13

☐ C欄の続きにも文献が列挙されている。

☒ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

“A” 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの

“D” 国際出願で出願人が先行技術文献として記載した文献

“E” 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの

“L” 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）

“O” 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献

“P” 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願の日の後に公表された文献

“T” 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と抵触するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

“X” 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

“Y” 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

“&” 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

05. 12. 2024

国際調査報告の発送日

24. 12. 2024

名称及びあて先

日本国特許庁(ISA/JP)
〒100-8915
日本国
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

権限のある職員（特許庁審査官）

家田 政明 2B 9319

電話番号 03-3581-1101 内線 3237

様式 PCT/ISA/210（第2ページ）（2022年7月）

国際調査報告
パテントファミリーに関する情報

国際出願番号
PCT/JP2024/039160

引用文献			公表日	パテントファミリー文献			公表日
JP	2022-67386	A	06.05.2022	US	2023/0255175	A1	
				[0062]－[0244], FIG.1－			
				FIG.18			
				WO	2022/085518	A1	
				EP	4212013	A1	
				CN	116322316	A	
				KR	10-2023-0085152	A	
JP	6857913	B2	14.04.2021	CN	210929054	U	
JP	2016-158622	A	05.09.2016	(ファミリーなし)			